足利赤十字病院　病診・病病連携ニュース

2022年6月 vol.33

Nisseki Bridge

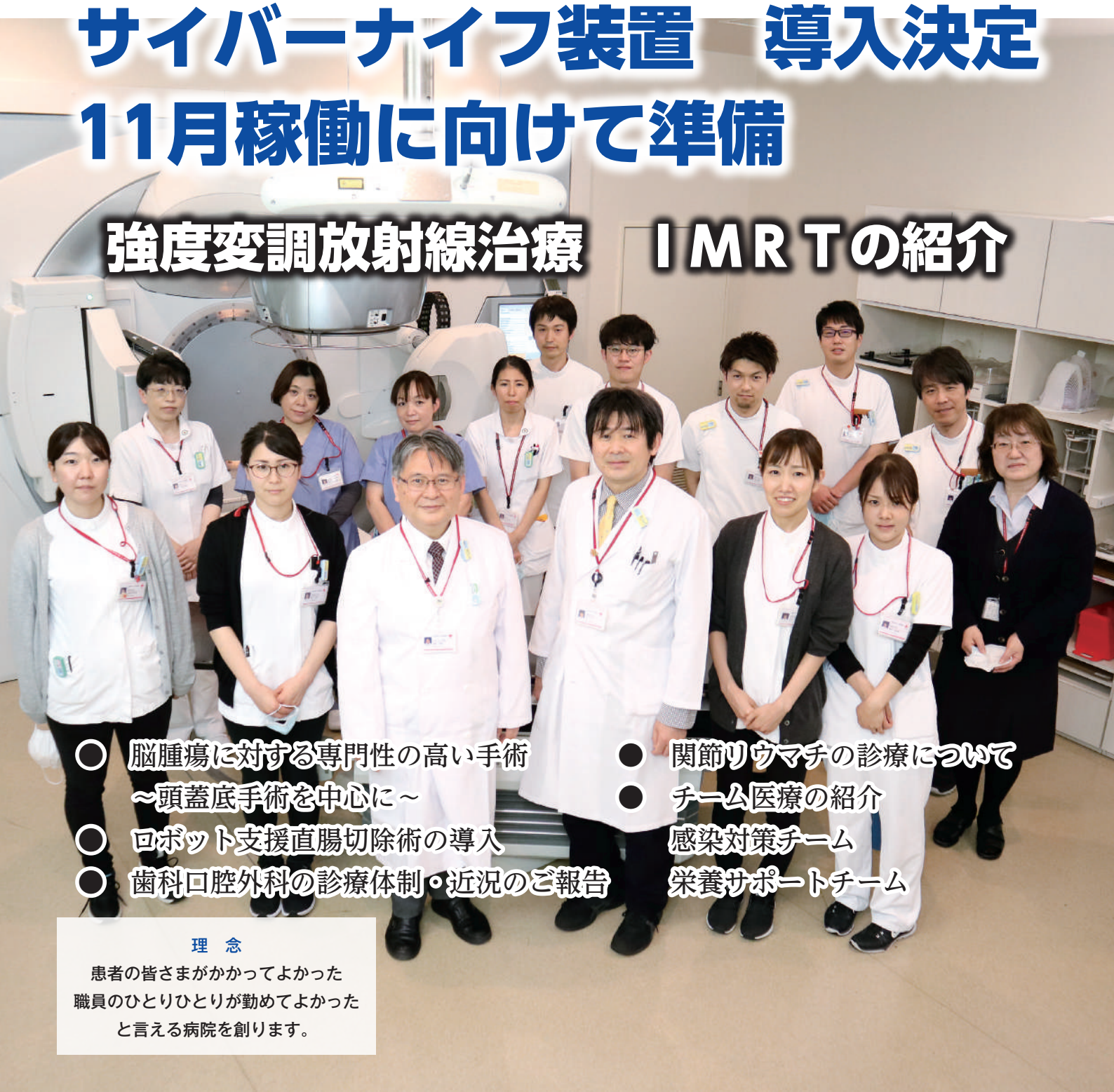
Nisseki Bridge

CONTENTS

1　診療部長就任挨拶　（塚本 信宏）
2　放射線治療科　（川口　修 ）
3　脳神経外科　（柴尾 俊輔）
4　外科　（瀬尾 雄樹）
5　歯科口腔外科　（柚木 泰広）
6　膠原病内科　（山田 壯一）
7　チーム医療の紹介　感染対策チーム
8　チーム医療の紹介　栄養サポートチーム
9　登録医・登録歯科医療機関一覧

サイバーナイフ装置　導入決定
11月稼働に向けて準備

強度変調放射線治療　ＩＭＲＴの紹介

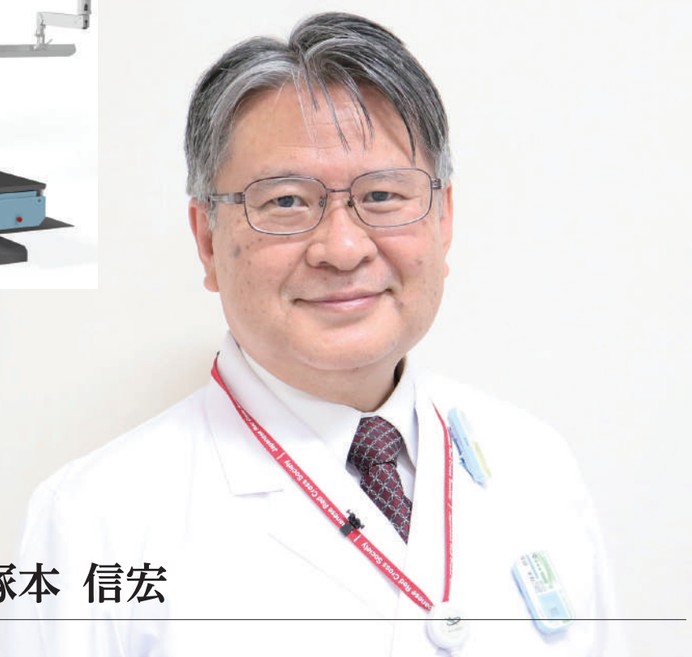


- 脳腫瘍に対する専門性の高い手術
  ～頭蓋底手術を中心に～
- ロボット支援直腸切除術の導入
- 歯科口腔外科の診療体制・近況のご報告
- 関節リウマチの診療について
- チーム医療の紹介
  感染対策チーム
  栄養サポートチーム

理　念

患者の皆さまがかかってよかった
職員のひとりひとりが勤めてよかった
と言える病院を創ります。

導入するサイバーナイフ装置



サイバーナイフ治療部長　塚本 信宏

2022年4月1日よりサイバーナイフ治療部長に就任いたしました。よろしくお願い申し上げます。放射線治療におきましては日頃より大変お世話になっています。当院に新規導入されるサイバーナイフについてご紹介させていただきます。サイバーナイフも放射線治療装置ですが、これまでの装置とは考え方、構造が全く異なっています。一般的な放射線治療装置は治療に使う高エネルギーのX線を発生させるため、大きく重い機械になっています。照射の位置精度を保つためにしっかりと固定され、コンクリートに囲まれ、半分コンクリートに埋まったような造りとなっています。正確に照射はできますが、細かくは照射できませんでした。サイバーナイフでは小型の放射線発生装置をロボットアームに装着し、照射方向の自由度が増しています。強固な固定によらず、ソフトウェアで位置精度を確保するという発想の転換を実現した装置です。このため、肺や肝臓のような呼吸性移動のある臓器内の病変の治療に特に強みを発揮します。またピンポイントで狙えるため、大線量を短期間で照射できることが大きな特長です。初期の悪性腫瘍で手術できない方はもちろん、さまざまな部位の転移性病変にも有効です。副作用のほとんどないピンポイント照射を短期間で行えます。転移性病変も症状のない段階で局所制御できれば、QOLの高い、比較的長期の予後が期待できます。限定した範囲に照射することで、副作用の懸念から、従来の放射線治療の適応のなかった症例にも照射可能で、また、すでに照射された部位や近傍の部位への照射も安全に行えます。しかも短期間で、外来通院でも可能です。効果と引き換えに差し出すものが必要ない緩和治療といえると思います。先生方には、ぜひ、新しい放射線治療をご活用いただきながら、私たちも地域医療に少しでもお役に立てればと考えています。11月稼働に向けて準備を進めております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

治療計画作成中の川口部長

「強度変調放射線治療　IMRTのご紹介」

放射線治療科部長　川口 修

平素より病診病病連携において多大なご協力を賜り誠にありがとうございます。放射線治療科の川口修と申します。2022年4月から当院の放射線治療部門は常勤医2名体制となりました。これによりこれまで対応できていなかった強度変調放射線治療（IMRT）が実施できるようになりました。従来の3次元照射法と比較して標的にはより高線量を照射しながらも、それでいて周囲の正常組織の線量は従来より低減できるという特徴があります。

具体例としては頭頸部癌、肺癌、食道癌、子宮頸癌、前立腺癌など標的である原発巣とリンパ節転移が周囲の正常組織と複雑に隣り合っているような症例でも、原発巣やリンパ節転移巣にはしっかりと根治線量を照射しつつ周囲の唾液腺や消化管、脊髄などのリスク臓器の線量を耐容線量以内に低減して照射することが可能になります。また根治的な治療に限らず、緩和目的の治療においてもできるだけ照射に伴う副作用を出さないように患部に照射することができるので緩和治療でも非常に有用となります。

ご依頼いただく上で特別な変更点はございません。これまで通り直接放射線治療科宛または当院の当該科を通してご依頼いただければ、必要に応じて当方で患者様と相談しながらIMRTや定位放射線治療など適切な照射方法で治療に当たるように調整いたします。これまで以上に放射線治療が何らかの形で治療戦略においてお役に立てる機会が増えるものと考えております。

さらに患者さまと先生方のご期待に沿えるように放射線治療チーム一同精進してまいりたいと存じます。今後ともご指導・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

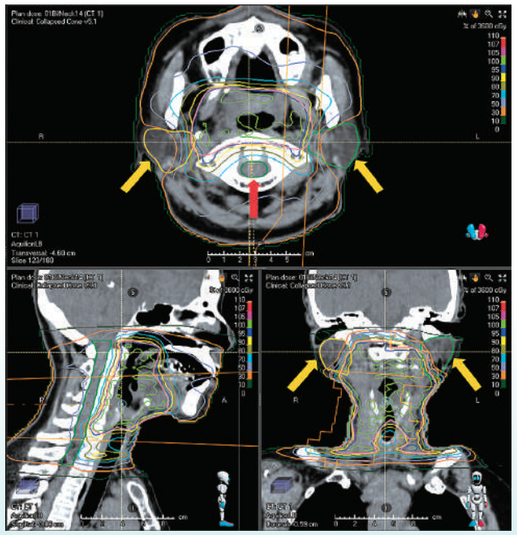


図　右口腔底癌術後照射の線量分布図

右口腔底癌切除後の腫瘍床と予防リンパ節領域に対してIMRTで術後照射を行った1例。口腔底、中咽頭など腫瘍があった部位や予防リンパ節領域にはしっかり照射しつつ、両側耳下腺（黄色矢印）や脊髄（赤矢印）などの線量を低減して照射することができています。

頭蓋底手術を施行中の柴尾部長代行

脳腫瘍に対する専門性の高い手術
～頭蓋底手術を中心に～

脳神経外科部長代行　柴尾　俊輔

はじめに

脳神経外科は頭蓋内に存在する様々な病変を手術治療する診療科です。脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など）、頭部外傷をはじめとして、幅広い領域の頭蓋内病変を手術で治療します。その中でも専門性の高い治療を要するのが脳腫瘍です。一言で脳腫瘍といっても多種多様な病変が含まれますが、本項では特に頭蓋底手術に焦点を当て、その治療につきご紹介させていただきます。

頭蓋底とは

「頭蓋底」は書いた字のごとく、「頭蓋の底」の領域です。この領域にできる腫瘍は深い場所に位置しており、手術で到達するのがとても難しいです。さらに、神経、血管など大事な構造物が密集していることも、手術を難しくしています。

頭蓋底にできる腫瘍

頭蓋底にできる腫瘍としては、多いものから髄膜腫、下垂体腺腫、神経鞘腫（聴神経腫瘍を含みます）、頭蓋咽頭腫、類皮腫、類上皮腫、脊索腫などがあります。

頭蓋底手術とは

頭蓋底手術は、上記のように深い場所にできた頭蓋底腫瘍を脳に負担をかけないように摘出する手術といえ、高度な知識と技術を要します。具体的には、頭蓋底の骨を削って経路を作ることで脳を引かずに病変にアプローチします。頭蓋底の骨には重要な神経、血管、器官が入っており、その解剖を熟知して削る必要がありますが、その解剖の理解にはトレーニングが必要です。当職は頭蓋底手術の伝統がある慶應義塾大学での頭蓋底トレーニングを経ており、頭蓋底に関する論文も多数執筆させていただきました。また、全国的にも頭蓋底外科医としてご高名な慶應義塾大学脳神経外科　吉田一成名誉教授に頭蓋底手術の際には来ていただき、手術のご指導を賜っております。

頭蓋底手術における手術支援

安全な頭蓋底手術を行うために欠かせないのが手術支援機器です。当院では手術支援機器として、術前画像を3D再構成して行う3Dシミュレーション、術中にリアルタイムに病変の場所を把握するナビゲーションシステム、術中に脳神経機能をモニターする神経モニタリングなど、最新設備を整えて頭蓋底手術を行っています。また、内視鏡の導入も行い、術中死角となる場所を観察する補助的内視鏡や、下垂体腺腫を始めとする傍鞍部頭蓋底腫瘍に対する経鼻内視鏡も積極的に行っています。

最後に

頭蓋底手術は通常、大学病院で行われる高度手術に含まれますが、当院では技術、設備ともに大学病院に劣らない環境で頭蓋底手術を行っています。是非とも地域の先生方との連携を密にし、地域の頭蓋底病変の治療を行っていく所存でございます。今後ともどうかご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

サージョンコンソールで手術操作を行う瀬尾副部長

当院におけるロボット支援
直腸切除術の導入

外科副部長　瀬尾　雄樹

先生方には平素より、多くの大腸癌患者を当院へご紹介いただき、誠にありがとうございます。

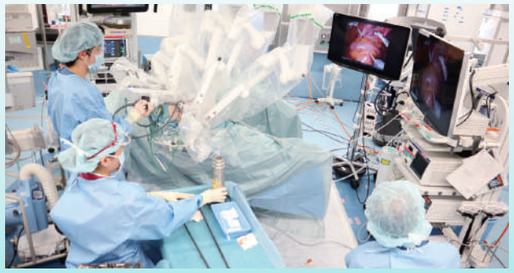
本邦では2018年に、直腸癌に対するロボット支援下手術が保険収載されました。当院では2021年11月に手術支援ロボット（da Vinci）を使用したロボット支援直腸切除術を導入し、今日まで研鑽を積んでまいりました。

それまで直腸切除の主流であった腹腔鏡手術では、柄の長い手術器具を用いるため、直線的な動きが主体であったのに対して、ロボット手術では、自由自在に曲がる関節を持つロボットを用いるので、手の動きがそのまま鉗子の動きに反映されます。そのため、狭い骨盤内でも正確で繊細な動きが可能になりました。

また、当院に導入されているda Vinci Xiでは、高画質で立体的な3Dハイビジョンおよびズーム機能が備わっており、患部を拡大しながら手術を行うことができるようになり、これまでは困難であった微細な脈管や神経の確認が可能となりました。その結果、直腸周囲の排尿や性機能に関わる神経をより精密に温存することができ、術後の排尿、性機能の保持が期待されます。

ロボット手術の術後在院期間は7日間前後で、従来の腹腔鏡下直腸切除術と大きな違いはありません。ロボット手術では腹腔鏡手術と同様、傷口が小さいため、手術翌日でもほとんどの患者さんが無理なく歩行可能となります。術後の早期離床が可能となることで、患者さんの早期の社会復帰が期待されます。

保険適応でのロボット支援下直腸癌手術を行っている施設は、栃木県内では当院を含めまだ数施設であります。今後も当院では直腸癌に対するロボット支援手術を積極的に行い、症例数を蓄積する所存です。地域の皆様の幅広いニーズにこたえられるよう、今後も精進いたします。今後ともご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。



ロボット支援直腸切除術を施行中の様子

外科ダヴィンチチーム

地域医療の充実のために
～歯科口腔外科の診療体制・近況のご報告～

第一歯科口腔外科部長　柚木　泰広

当院の連携医・連携歯科医の先生方におかれましては、平素より当科診療にご理解・ご支援を賜り、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

当科では、地元である足利市をはじめとして、両毛地域全域から多くのご紹介いただいております。対象疾患は、口腔外科疾患全般（歯と歯茎の疾患、顎変形症、顔面外傷、腫瘍性疾患、粘膜病変、顎関節症、歯性感染症）のほか、他科入院中患者の口腔内トラブルへの対応を行っております。

口腔外科疾患に対する手術件数も順調に増加しております。中でも最も多いのは智歯抜歯のご依頼で、恐怖感の強い方の場合には全身麻酔または静脈内鎮静を併用するなど、患者の希望と侵襲度に合わせて手術を行っています。

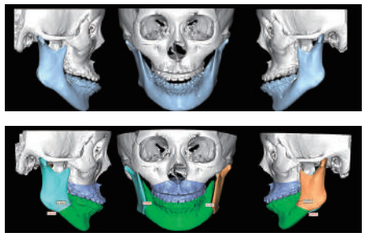
顎変形症

口腔外科疾患のなかでも特に顎変形症の診療に力を入れております。連携する矯正担当医と密にコミュニケーションをとって治療計画を立てたうえで治療を開始します。手術に際しては東京医科歯科大学・顔面外科学講座の協力のもと、術前にコンピューターシミュレーションを行い、そのデータをもとに手術用バイトプレートを作成して高い精度での手術を目指しております。また、超音波切削機などを用いることで、より安全で低侵襲な手術を心掛けています。

全身麻酔手術件数

手術症例内訳（2021年度）

	全身麻酔
抜歯（智歯・その他）	39
顎骨腫瘍摘出・開窓	20
顎変形症手術	17
下顎骨骨折手術	12
軟組織腫瘍切除	11
骨内異物除去	4
歯根端切除術	1
消炎手術	1
その他	3



顎変形症手術前シミュレーション

急患対応

急性疾患に対しては常勤歯科医師3名によるオンコール体制で対応しております。特に顔面外傷ー上下顎骨骨折については、早期に咬合改善をして社会復帰できるよう、必要に応じて観血的整復固定術を選択しています。

歯科CTの導入

2022年2月より、歯科パノラマ撮影装置を更新して、歯科用CT（コーンビームCT）撮影の可能な複合機を導入しました。これにより、小照射野・高解像度で、アーチファクトの少ない画像を得ることができるようになりました。既存の医科用CTと合わせて症例ごとに選択することで、これまで以上に診断精度が向上するものと考えます。

地域の先生方と役割分担しながら、自分たちの得意分野を生かして地域医療の充実のために少しでもお役に立てればと思います。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

丁寧に説明する山田副部長

関節リウマチの診療について

膠原病内科副部長　山田　壯一

平素より病診連携をいただいております先生方には、ご紹介や治療後の診療継続などで大変お世話になっており、誠にありがとうございます。

今回、小医が専門としている膠原病領域、特に関節リウマチ（rheumatoid arthritis：RA）についてご紹介させていただきます。RAは手指、手関節、足趾などの小関節を好発部位として滑膜炎をきたし、進行すると徐々に骨が破壊され、日常生活機能（ADL）の低下、生活の質（QOL）に大きな影響を与えます。そのRAですが、この30年の間に治療内容が劇的に変化しています。治療薬がほとんど存在しなかった時代は症状の緩和が最も重要な目標とされ、骨破壊に伴うADLの低下並びにQOLの低下を抑えることが困難でしたが、メトトレキサートをはじめとした従来型合成疾患修飾性抗リウマチ薬（conventional synthetic anti-rheumatic drugs：csDMARDs）の出現、病態形成に関与している腫瘍壊死因子（tumor necrosis factor：TNF）やIL-6などの炎症性サイトカインを標的とする生物学的製剤（biological disease-modifying antirheumatic drug：bDMARDs）が導入されたことでRA治療は急速に進歩し、治療の目標として臨床的寛解もしくは低疾患活動性を目指すことが現実的に可能となりました。また薬剤だけでなく使用時期、適切な診療方法についても解明され、欧州リウマチ学会（European League Against Rheumatism：EULAR）勧告でTreat To Targetの概念が提唱されるようになり、多くのRA患者に適切な治療を早期に提供できるようになりました。このように治療の進歩がめざましいRAですが、日々様々な患者様を診療いただいている諸先生方のご協力が不可欠となります。数多くの患者様の中で「RAかもしれない」と疑わしき方につきましては、診療依頼をいただければ幸いです。

より健康なる地域社会を目指して努めてまいる所存でありますので、今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

チーム医療の紹介　感染対策チーム

当院では、感染対策の役割を担う感染対策チーム（Infection Control Team）、通称ICTが活動しています。ICTは、感染対策の専門的知識を持つ医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師などで構成され、その活動目的は、患者や職員が安心・安全に病院内で過ごすことができるよう感染症をコントロールすることです。ICTの業務は多岐にわたりますが、現在は、平時の感染対策に加え、新型コロナウイルス感染症の対応をICTが中心となり病院全体で取り組んでいます。また、感染制御に欠かせない視点に、抗菌薬の適正使用が挙げられます。ICTを兼務する薬剤師を中心とした抗菌薬適正使用支援チーム(Antimicrobial Stewardship Team) 通称ASTが、抗菌薬を適正に使用するために、毎日のカンファレンスや患者ラウンドなど、きめ細やかな対応を行っています。2022年度の診療報酬改定では、従来から実施していたこれらの取り組みに加え、新型コロナウイルス感染症のような新興感染症が発生した場合にも通常診療が継続できる体制を構築するため、連携する医療施設だけではなく、地域の診療所や保健所、医師会と連携し、地域全体で感染対策に取り組むことが求められています。ネガティブに捉えがちなコロナ禍ですが、私たちICTは、今まさに連携を推進する好機と捉え、両毛医療圏全体の感染対策の向上を目指します。

感染管理室　看護師長　小林 由美江

連携施設との相互チェック

感染対策チームの活動内容

1. 感染対策マニュアルの作成・改訂
2. 医療関連感染サーベイランス
3. アウトブレイクの早期察知と介入・制圧
4. 職業感染管理
5. 抗菌薬の適正管理
6. 定期的な院内ラウンド
7. 環境整備
8. 感染管理に係るコンサルテーション
9. 感染管理教育
10. 感染管理に係る院外活動

患者ラウンド

ASTカンファレンス

～診療報酬改定の観点から～

2022年度の診療報酬改定では、感染症対策における取り組みが評価され、急性期病院だけでなく、地域の診療所においても点数が認められました。連携が評価される中、感染対策においては、情報共有するだけの連携でなく、新興感染症の発生等を想定した訓練等にも参加が必要な『参加型の地域連携』となっております。診療報酬改定では、診療所のみが算定できる『外来感染対策向上加算』・『連携強化加算』が新設され、当院のような感染対策向上加算1を取得している医療機関が定期的に開催する『合同カンファレンス』への参加が年2回以上の参加（更に連携強化加算を取得している医療機関は、年4回以上の感染症の発生状況などの報告）が必要となってきております。両毛医療圏全体の感染対策の向上のため、定期的に合同カンファレンスを主催しますので、積極的に参加していただければと思います。

医事課　診療情報責任者　松浦 裕樹

チーム医療の紹介　栄養サポートチーム

（NST：Nutrition　Support　Team）

NSTメンバー

【NSTの活動と役割】

当院のNSTは2019年に発足しました。栄養サポートチームメンバーは特別な資格を取得しており、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、社会福祉士の計34名で構成されています。NSTは患者様に対し、多職種が連携を図り、栄養に関する状態の評価と効果的な療法の助言並びに適切な管理の選択・実施をすることで、治療効果を高め、在院日数の短縮、医療費の削減、患者のQOLの改善を目指しています。

NSTカンファレンスの様子

【地域包括ケアと栄養情報の連携】

当院が位置する両毛地域（足利市・佐野市・太田市・館林市・邑楽郡・桐生市・みどり市）では、全国平均に比べ高齢化が進んでいる状況です。そのため、住まい・医療・予防・生活の支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムにおいても栄養管理の需要が高まっています。

当院ではNSTが介入した患者様が、急性期医療から慢性期医療へ移行し、病院や施設へ退院される場合や、ご紹介いただいた患者様が退院される際には、栄養治療実施計画兼栄養治療実施報告書として入院中の栄養管理状況と経過を報告しています。内容としては、栄養ケア（推定必要栄養量や、投与栄養量など含む）、歯科介入、栄養状態の評価等です。在院日数の短縮化により栄養状態改善に至らず退院となるケースも多く、退院後も切れ目のない栄養管理のため、皆様に役立つ栄養情報をお伝えしたいと思っています。また、皆様からいただきました栄養情報を日々のNST活動に活かし、早期の栄養改善にむけた参考とさせていただいております。

これからも地域の先生方、多職種の皆様のご支援・ご協力をいただき、患者様や地域の方々へ貢献できるよう努めてまいります。

登録医療機関一覧

医科　合計 337 施設

■ 足利市：95施設
あいファミリィクリニック足利
青木病院
青空ひふ科
青柳耳鼻咽喉科医院
あお山クリニック耳鼻咽喉科
浅岡医院
朝倉町よしだクリニック
浅原眼科クリニック
足利腎クリニック
足利第一病院
足利中央病院
あしかがの森足利病院
あしかが皮膚科クリニック
足利富士見台病院
あしかがメンタルクリニック
あなはらクリニック
阿部医院本院
天貝ペイン皮膚科クリニック
井岡眼科医院
いかるぎ町内科クリニック
井戸川クリニック
いざわ脳神経内科
今井病院
うるしばらクリニック
大岡胃腸内科
岡田内科
小倉耳鼻咽喉科医院
小沢医院
小平小児科クリニック
小平内科クリニック
落合医院
尾之内外科
小野内科消化器科医院
賀川診療所
笠原外科胃腸科医院
鹿島こどもクリニック
かしま産婦人科
鹿島整形外科
鹿島内科
柏瀬眼科
かめいクリニック
亀田医院ペインクリニック
亀山産婦人科医院
きねぶちクリニック
行徳整形外科クリニック
くさの小児科
こどもクリニックしまむら
小林内科
小松原ペインクリニック
こんのクリニック
さくら通りクリニック
三瓶医院
柴田クリニック
昌平町こどもクリニック
新山クリニック
鈴木病院
すながクリニック
整形外科かないクリニック
関内科医院
田村レディスクリニック
筑波医院
てらうち内科小児科医院
ときたクリニック
栃木産科婦人科医院
冨田内科医院
富谷耳鼻咽喉科医院
長﨑病院
なかたクリニック
なかみがわ内科・小児科クリニック
中谷医院
中山内科医院
西田医院
はじか外科内科
平沢内科医院
深井眼科医院
福地医院
ふじさわみみはなのどクリニック
伏島医院
伏島クリニック
堀江皮フ科クリニック
本庄記念病院
前沢病院
増田医院
みくりや整形外科
みどり眼科クリニック
皆川病院
みなみ眼科
柳田医院
山浦内科医院
山川ゆい診療所
ゆはし医院
横山皮膚科医院
吉田醫院
両毛クリニック
わたなべ整形外科

■ 佐野市：56施設
相田婦人科内科医院
秋山内科医院
ありさわ眼科クリニック
板橋医院
大野眼科クリニック
岡産婦人科医院
岡田こどもクリニック
小倉医師会通りクリニック
おぬき内科クリニック
加藤クリニックプラザ
神永皮膚科医院
亀田医院
くすのき整形外科
くまいクリニック
黒田整形外科医院
こばやしファミリークリニック
齋藤耳鼻咽喉科医院
齋藤内科医院
さかい皮フ科クリニック
佐野市国民健康保険常盤診療所
佐野市国民健康保険氷室診療所
佐野市民病院
佐野利根川橋クリニック
佐野西村眼科クリニック
志賀クリニック
清水整形外科クリニック
城山公園すずきクリニック
すがやクリニック
鈴木内科クリニック
関谷内科胃腸科医院
蘇原医院
匠レディースクリニック
竹石内科クリニック
土屋小児科
坪水医院
富田内科クリニック
長島医院
のしろクリニック
馬場医院
平野外科醫院
藤田整形外科医院
ほだかクリニック
ほりごめクリニック
ますだトータルケアクリニック
増田内科医院
丸山レディースクリニック
緑の屋根診療所
ヤマト医院
山中クリニック
よこづかハートクリニック
柳川小児科医院
吉田耳鼻咽喉科クリニック
米山内科クリニック
両毛病院
若林胃腸科医院
綿引クリニック

■ 太田市：71施設
あい太田クリニック
あいファミリィクリニック太田
新井診療所
荒木医院
有坂医院
伊藤産婦人科
イムス太田中央総合病院
岩崎医院
うがじんクリニック
えはら内科クリニック
大川眼科
大島胃腸科内科クリニック
太田記念病院
太田協立診療所
太田じんクリニック
太田中央眼科
太田糖尿病クリニック
おおたブレストクリニック
太田南クリニック
荻野整形外科クリニック
鹿山整形外科
川田クリニック
木崎クリニック
喜多村クリニック
くつなクリニック
剣持整形外科
こいそ整形外科クリニック
宏愛会第一病院
小島医院
小林胃腸科医院
小林クリニック
坂本胃腸科医院
佐藤耳鼻咽喉科医院
三枚橋病院
耳鼻咽喉科みなみ医院
下浜田クリニック
秀クリニック
正田医院
城山病院
杉立医院（ｽｷﾞﾀﾃｲｲﾝ）
杉田内科医院
関口医院内科
宝診療所
たちばな小児科アレルギー科クリニック
東毛敬愛病院
とうもう整形外科クリニック
ときざわレディスクリニック
登田医院
呑龍クリニック
中野医院
なないろこどもクリニック
成田医院
野口皮膚科医院
八幡クリニック
服部・えびすさまクリニック
平原内科・消化器科
深川クリニック
藤井レディースクリニック
ふくだ耳鼻咽喉科クリニック
冨士ヶ丘病院
星野内科胃腸科医院
堀江病院
堀越医院
まえはら耳鼻咽喉科クリニック
みのわクリニック
もとじま整形外科・糖尿病内科
本島総合病院
山口医院
山口外科医院
山田クリニック
和賀クリニック

■ 館林市・邑楽郡：59施設
阿部医院
新井内科クリニック
板倉耳鼻咽喉科クリニック
伊藤眼科医院
宇沢整形外科
おうら病院
岡田整形外科クリニック
小曽根整形外科
かさはら内科医院
加藤医院
金丸内科医院
神尾内科医院
川島脳神経外科医院
川田耳鼻咽喉科医院
慶友整形外科病院
県西在宅クリニック舘林
公立館林厚生病院
ごが内科楡クリニック
後藤クリニック
小林内科医院
こやなぎ小児科
さくま内科胃腸科クリニック
さくらクリニック
佐々木皮膚科クリニック
澤田皮膚外科
しんじょう整形外科クリニック
新橋病院
鈴木眼科医院
高木整形外科
高橋クリニック
たけい小児科・アレルギー科
竹越医院
多々良診療所
館林医院
館林記念病院
たなか医院
田沼整形外科医院
田沼内科医院
千代田医院
つつじメンタルホスピタル
寺内医院
土井レディスクリニック
ハートクリニック
蜂谷病院
はまだクリニック
福田ペインクリニック
富士クリニック・ペインクリニック
星野こどもクリニック
堀越医院
ましも内科・胃腸科
松井内科医院
真中医院
黛泌尿器科内科医院
まりレディスクリニック
三浦医院
明和セントラル病院
最上胃腸科外科
森下内科医院
横田胃腸科内科

■ 桐生市・みどり市：53施設
アイダ痛みのクリニック
雨宮内科医院
石川整形外科医院
石川内科クリニック
いずみ内科
岩下病院
大澤医院
大前医院
おりひめ医院
川島眼科医院
菊地医院
岸病院
北川眼科医院
北川内科クリニック
桐生クリニック
桐生厚生総合病院
桐生整形外科病院
くりた医院
クリニック樹
恵愛堂病院
小島内科医院
こんどう整形外科リハビリテーション科医院
斎藤医院
さかいのクリニック
坂本内科医院
さくら耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科設楽医院
昭和皮膚科医院
城田クリニック
新宿医院
鈴木整形外科クリニック
須永医院
赤南診療所
高木病院
たかのす診療所
東邦病院
永田医院
日新病院
はせがわ循環器内科クリニック
長谷川整形外科医院
ひきた小児科クリニック
藤井内科医院
藤江醫院
星野クリニック
細井内科医院
前川内科医院
松井内科医院
三丸医院
森田クリニック
矢部クリニック
山口クリニック
大和病院
わたらせリバーサイドクリニック

■ 栃木市：3施設
あまがい内科医院
小松原医院
橋本腎内科クリニック

市町村別・五十音順

歯科　合計 182 施設

■ 足利市：64施設
青木歯科医院
麻野歯科医院
足利おとなこども歯科・矯正歯科
足利デンタルクリニック
アシコタウン歯科
アベ歯科
阿部歯科医院
阿部歯科クリニック
天海歯科診療所
いもと歯科医院
いもと歯科医院（八椚）
植木歯科医院
大川歯科医院
岡田歯科クリニック
岡林歯科医院
おかむら小児歯科クリニック
おざわ歯科医院
柏瀬歯科医院
春日丘歯科
加藤歯科医院
かなえ歯科クリニック
河内歯科
かわまた歯科医院
きが歯科医院
久保田歯科医院
小林歯科医院
小林歯科クリニック
コム中島歯科
近藤歯科医院
さくら歯科
櫻井歯科医院
さくらい歯科クリニック
歯科あべクリニック
しのだ歯科医院
しのだ歯科クリニック
鈴木歯科医院
関根歯科クリニック
添野歯科医院
田辺歯科医院
長歯科医院
つるた歯科クリニック
とき﨑歯科医院
戸塚歯科医院
とば歯科医院
内藤歯科医院
中島歯科医院
ながしま歯科・口腔外科クリニック
ながせ歯科医院
なかたに歯科
西田歯科医院
２丁目石井歯科医院
はぎわら歯科医院
ほり里小林歯科
マキオ歯科医院
松井歯科医院
松島歯科医院
むらかみ歯科・矯正歯科
やまもと歯科医院
吉岡歯科医院
よしたに矯正歯科
若田部歯科医院
若林歯科医院
渡辺歯科クリニック
わたらせ歯科クリニック

■ 佐野市：52施設
相田歯科医院
あきくさ歯科クリニック
芥川歯科医院
安蘇谷歯科
アップル歯科クリニック
新井歯科医院
安藤歯科医院
飯塚歯科医院
石井歯科医院
植木歯科医院
ウエキ歯科クリニック
えづら歯科クリニック
おおしま歯科医院
おおた歯科・小児・矯正歯科クリニック
大橋歯科医院
大畑歯科医院
岡村歯科医院
落合歯科医院
かどわき歯科クリニック
亀田歯科医院
かめのこ歯科医院
公園にれい歯科
ごとう歯科医院
こん歯科クリニック
齋藤歯科医院
さくら歯科
塩野谷歯科医院
島田歯科診療所
スマイルスマイル歯科
たかはし歯科医院
長島医院歯科
長島歯科医院
中村歯科医院
奈良原歯科
楡の木歯科医院
パール歯科医院
橋本歯科医院
長谷川歯科医院
ひかりデンタルクリニック
ひまわり歯科医院
三井歯科医院
峯岸歯科医院
目黒歯科医院
やすげ歯科クリニック
柳川歯科医院
山内歯科クリニック
山口歯科クリニック
湯本歯科医院
よこづか歯科
横塚歯科医院
よこづか歯科クリニック
米山南歯科診療室

■ 太田市：14施設
あい歯科クリニック
飯塚歯科医院
おおたモール歯科
木暮歯科医院
ゴスペル歯科クリニック
須藤歯科クリニック
竹部歯科医院
田中歯科医院
中野歯科医院
野村歯科クリニック
備前島歯科医院
ヒデ・デンタルクリニック
ふじい歯科・小児歯科
山鹿歯科医院

■ 館林市・邑楽郡：22施設
石井歯科医院
石山歯科医院
岩崎歯科クリニック
おおいし歯科医院
岡田歯科医院
久保田歯科
斉藤歯科医院
齋藤歯科クリニック
高志歯科医院
武安歯科医院
ちよだの森歯科診療所
根本歯科・矯正歯科医院
野本歯科クリニック
浜田歯科医院
ひだまり歯科医院
ほりこし歯科クリニック
まちだ歯科医院
まつもと歯科医院
みやけ歯科医院
森田歯科医院
山川歯科クリニック
横田歯科クリニック

■ 桐生市・みどり市：30施設
相生なかじま歯科医院
井本歯科医院
大塚歯科クリニック
加孝歯科クリニック
金子歯科医院（相生）
かねこ歯科医院（境野）
桐生歯科医院
香村デンタルクリニック
小林歯科医院
小林歯科クリニック
古室歯科クリニック
小森谷歯科医院
斎藤歯科医院
坂爪歯科医院
さくらぎ歯科医院
須藤歯科医院（桐生境野）
須藤歯科医院（桐生東）
須永歯科医院
高島歯科医院
田島歯科
とおる歯科医院
鳥羽歯科医院
中島歯科医院
松本歯科医院
三丸歯科クリニック
森下歯科クリニック
山﨑歯科医院
百合歯科医院
わかつき歯科
わたなべ歯科クリニック

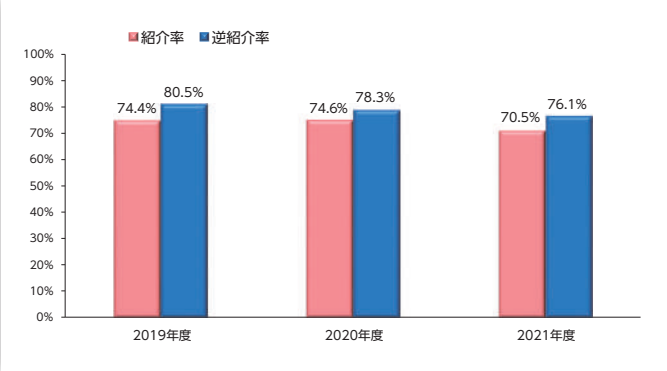
市町村別・五十音順

当院は地域医療支援病院としての機能を果たすため、地域の医療機関と協力・連携して医療を実施しています。連携する医療機関は登録医としてご登録いただいており、現在、足利市95施設、佐野市56施設、太田市71施設、館林市・邑楽郡59施設、桐生市・みどり市53施設、栃木市3施設の合わせて337施設の医療機関にご登録いただいております。
歯科登録医は182施設にご登録いただいております。登録医療機関数（医科・歯科合計519施設）　（2022年5月11日現在）

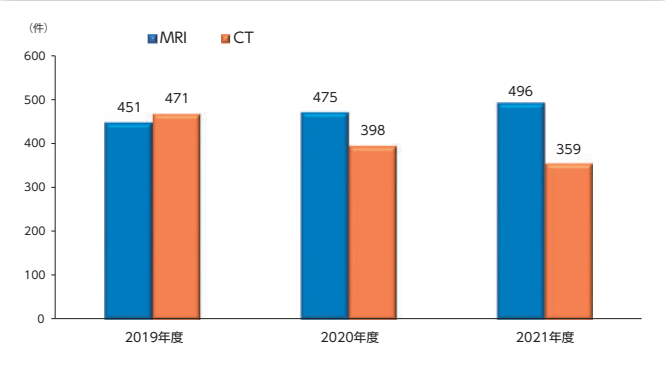
2021年度　地域医療従事者研修会　実績表

開催回数	開催年月日	研修会名		テーマ	参加人数
1	5/20	第1感染防止対策合同カンファレンス	➡	耐性菌・抗菌薬使用状況他	26
2	7/15	第2回感染防止対策合同カンファレンス	➡	耐性菌・抗菌薬使用状況他	25
3	11/18	第3回感染防止対策合同カンファレンス	➡	耐性菌・抗菌薬使用状況他	28
4	1/15	スピリチュアルケア研修会	➡	対人援助・スピリチュアルケア研修	8
5	1/29	スピリチュアルケア研修会	➡	対人援助・スピリチュアルケア研修	8
6	2/19	スピリチュアルケア研修会	➡	対人援助・スピリチュアルケア研修	8
7	2/22	桐生市医師会例会（会場：桐生メディカルセンター）	➡	「足利赤十字病院　脳神経外科の取り組み」	40
8	3/17	第4回感染防止対策合同カンファレンス	➡	耐性菌・抗菌薬使用状況他	30

紹介率・逆紹介率の推移



高度医療機器の共同利用件数の推移



地域連携課「新体制のご挨拶」

平素より地域医療機関の皆様方には格別なご高配とご支援をいただき厚く御礼申し上げます。

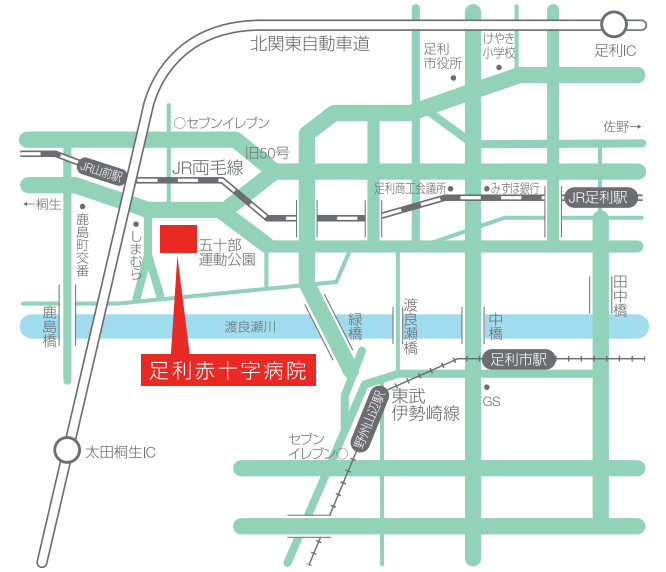
このたび、2022年４月１日付けで、地域連携課スタッフの一員として新たに看護師が加わりました。

今まで以上に地域の先生方からの紹介患者等、スムーズな受け入れ体制を構築し「最後の砦」としての使命を果たしてまいります。

今後とも地域医療機関とWIN-WINの関係強化に努めてまいりますので、ご指導とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

地域連携課スタッフ

案内図



【交通のご案内】

- 東武伊勢崎線「北千住駅」（東武特急りょうもう号）より「足利市駅」まで約1時間
  「足利市駅」下車　タクシーで6分
- JR両毛線「足利駅」下車　タクシーで8分／「山前駅」下車　タクシーで3分
- 北関東自動車道　太田桐生ICより10分／足利ICより20分

2022年6月　足利赤十字病院
病診･病病連携推進委員会　地域連携課

地域連携課

- ＴＥＬ／0284-20-1374（直通）
- ＦＡＸ／0284-21-4135
- E-mail／byoushin@ashikaga.jrc.or.jp
- 担　当／石川・栗原・永澤・川島

日本赤十字社　足利赤十字病院
Japanese Red Cross Society

〒326-0843 栃木県足利市五十部町284-1
https://www.ashikaga.jrc.or.jp